

2013年度未来の京都創造研究事業 研究だより

第1号

本事業は、大学の若手研究者等と京都市の担当部署が協力しあって調査・研究を進めることで京都市の政策や事業に生かすことのできる、より実践的な研究成果の獲得を目指して、2011年度から公益財団法人大学コンソーシアム京都と京都市が共同事業として行っており、本年度で3年目を迎えています。このたび本年度に実施する4件のテーマが決定しましたので、それらの概要をお知らせします。

指定課題…京都市が指定するもの 2件

自由課題…京都市の政策に関わるもので、指定課題以外のもの 2件

指定課題1「京都の伝統、文化や観光など京都ならではの魅力に生物多様性保全が果たす役割と今後必要とされる方策」 ※応募件数4件の中から以下のテーマが採択

テーマ	市民生活における自然環境共生の知見と身近な生物相の実態評価
研究代表者	柴田 昌三（京都大学大学院地球環境学堂・教授）
研究概要	本研究では緑地、水系、山麓という三つの領域を軸に、現地調査、アンケート調査、ヒアリング調査などの手法を用いて、①街区単位での住宅庭、社寺林、街路樹などの緑地の総合評価、②河川における美化活動と生物相の関係性評価、③山麓の社寺庭園における野生動物との連関評価と参加型森林管理の現状評価、をそれぞれおこなう。三つの研究軸から示される課題や解決策を統合的に評価し、京都市の生物多様性地域戦略（仮称）の策定に貢献することを目指す。

柴田先生と研究室の若手研究者には三つの分野で調査・研究を進めていただきます。これまでの研究実績を活用することで京都市の生物多様性保全に寄与するとともに、若手研究者の育成にもつながることが期待されます。

指定課題2「ソーシャルビジネスを成功させる条件と必要とされる方策 -中小企業支援の視点から-

※応募件数4件の中から以下のテーマが採択

テーマ	学生参加型ビジネスコンペを利用したソーシャルビジネスの育成・普及にかかわる実証研究
研究代表者	大室 悦賀（京都産業大学経営学部・准教授）
研究概要	ソーシャルビジネスの育成・普及にかかわる三つの課題（①概念の認知度向上、②商品やサービスの開発、③社会的課題を解決する商品を消費する消費者の育成）の解決策を提示し、検証することを目指す。そのために、京都市内の大学生を対象にソーシャルプロダクト（社会的課題を解決する商品）の普及にかかわるビジネスコンペやアンケート分析等を実施する。

大室先生は京都市内の企業に対してアンケート調査（約2,000社）を実施し、ソーシャルビジネスに対する潜在的ニーズが存在することをすでに確認されており、ソーシャルビジネスの商品やサービスを普及させるにはそれらを消費する社会志向型消費者の存在が必要不可欠であると考えられています。そこで本研究においては消費者視線に立った調査・研究を進められる予定です。

自由課題 ※応募件数7件の中から以下の2件が採択

テーマ	幹線道路に隣接する細街路の都市計画上の課題 —「歴史細街路」の維持保全に向けて—
研究代表者	森重 幸子（京都大学大学院工学研究科建築学専攻・研究員）
研究概要	<p>都心の細街路は歴史都市の魅力の一つである一方、幹線道路沿いは建築物が高密度に建ち、経済活動を推進する地域とされている。幹線道路沿道地区内に細街路が存在する場合、極端に異なる前面道路の状況のために高さ規制や容積率規制が大きく変化することから、細街路沿いの土地利用は非常に不安定な状態におかれている。</p> <p>そこで本研究では都心の細街路、特に幹線道路沿道地区側にある細街路の実態を明らかにし、都市計画上の課題を整理した上で今後の施策のあるべき方向性を提示する。</p>

森重先生は、同じ研究室の学生らとともに京都の都心部における細街路（幅員4m以下）を現地調査し、過去からの変化を踏まえたうえで、今後の都心部における細街路と沿道のまちの保全に向けた策を提言していただく予定です。

テーマ	和装関連市場における新たなセグメントとその特性の分析
研究代表者	吉田 満梨（立命館大学経営学部・准教授）
研究概要	<p>京都の伝統産業である和装産業の今日の産業構造の変化を、新たに形成されている消費者セグメントの明確化と、それに影響を与える企業の戦略的行動の調査を通じて分析する。これにより今日の和装産業における市場変化とそれに伴う市場機会を可視化し、和装関連企業や産業育成の政策への示唆を導く。</p>

吉田先生は、和装産業に関わる企業や消費者に対するアンケートやインタビューを通して消費者の意識と行動を分析し、和装産業全体における市場の変化と市場機会を可視化することに挑んでいただきます。京都の伝統産業の一つである和装産業の発展に資することが期待されます。

昨年度に実施した「2012年度 未来の京都創造研究事業 研究成果報告書」を当財団のホームページに掲載しております。是非ご覧ください。

<2012年度の研究テーマ>

調査・研究代表者	調査・研究テーマ
真下 美弥子 (京都精華大学人文学部・教授)	四地域を通して考える地蔵盆 ～世代間の伝承と地域コミュニティの機能～
前田 昌弘 (京都大学大学院工学研究科・研究員)	地蔵盆の運営実態と地域のレジリエンス向上に果たす役割に関する研究
井上 学 (平安女学院大学国際観光学部・准教授)	修学旅行の訪問先が大学進学に与える影響の分析と大学の魅力発信の方策～修学旅行生および大学在校生に対するアンケート分析等を事例として～
三俣 延子 (同志社大学経済学部・助教)	京野菜(地場農産物)でつながる洛中洛外ネットワーク～地産地消の過去・現在・未来～
加藤 政洋 (立命館大学文学部・准教授)	二条駅周辺の再開発と(まちづくり)
斎藤 真緒 (立命館大学産業社会学部・准教授)	家族介護者の仕事と介護が折り合う環境(ワーク・ケア・ライフ・バランス)の実現に向けた支援策の提供

http://www.consortium.or.jp/contents_detail.php?co=cat&frmId=2633&frmCd=52-4-1-0-0

今後の調査・研究の進捗状況や本事業のイベント等を、この「たより」を通して皆さまにご案内してまいりますので、楽しみにお待ちください。

公益財団法人 大学コンソーシアム京都 高等教育研究推進事業部 シンクタンク事業
 担当：水田（みづた）、鳴海（なるみ） E-mail：mirainokyoto@consortium.or.jp
 T e l : 075-708-5803 F a x : 075-353-9101